



Text = だっくす小峰 Dax Komine  
Photo = 平野 威 Takeshi Hirano

# リクガメ日和

その17

東京都  
久保田 貴幸さん

会社とともに成長する  
松竹梅は会社の守り神！  
いや、守りガメ!?



Instagram @ gentosha\_kame3

インスタグラムで、3頭のケツメリクガメが、バリバリとエサを食べたり、並んで歩いている動画を発見した。投稿者は、幻冬舎の松竹梅とある。松竹梅とは3頭のリクガメの名前だ。「え？幻冬舎って、あの大手出版社の幻冬舎さん？」と、気になり、毎日チェックするようになった。その後、松さんが風邪をひいたとのこと、心配になり、メッセージさせていただいたりしているうちに、どうしても会いたくなって、取材をお願いした。そして、今回実現した！

3頭のリクガメは、『幻冬舎メディアコンサルティング』という会社の、広いバルコニーで、のびのびと飼育されていた。飼い主は代表取締役の久保田さんだ。

久保田貴幸さん  
(株)幻冬舎メディアコンサルティング代表取締役社長の久保田貴幸さん。リクガメが大好きで、爬虫類イベントにも参加されたこともあるそうだ。ケツメリクガメが好きだが、アルダブラゾウガメにも興味があるという。

「もともとリクガメが好きで、いろいろなリクガメを飼育していたんですよ。で、この会社を立ち上げるときに、一緒に成長できるリクガメを飼育しようと思って、ケツメリクガメの松と竹を飼いはじめました。で、もうひとつ会社を作ったときに梅を迎え、3頭を育てていました。小さいときは、衣装ケースとかで飼育していたんですけど、大きくなってくると、これは『本格的な世話が必要だ』って思ったんです。で、飼育担当のアルバイトの方を募集したんですよ。それで決定したのが武山さんなんです」

「リクガメのことは最初知識もなくて……。でもSNSで、わからないことを素直に書くと、カメラの先輩方がコメントで教えてくださいました」

そう話す武山さんは、月々金、10時から13時までリクガメたちの世話をしている。

「毎日カメラたちのベランダと小屋の掃除をし、太陽が出ていたらベランダは冬でも暖かいので、温浴がわりに温水で体を洗います。その際、体に異常がないかチェックします。たくさん運動させてから、12時頃、野菜や果物のエサをあげています」



久保田さんが来ると、エサをもらおうとすぐによってきて、手からバリバリと食べる。エサはコマツナ、チンゲンサイ、ニンジン、キュウリ、リンゴなど本当に豊富なエサだ。

- 1 2012年にやってきたオスの梅くん。
- 2 2005年から飼育されている竹さん。メス。実は結石の手術も受けている。
- 3 2005年から飼育されている松さん。メス。直線甲長約45cm。



飼育担当武山さんに駆け寄っていくリクガメたち。



歩きながらリンゴを食べリクガメたち。



たっぷり太陽光を浴びながら、12m×2.1mの広いバルコニーを自由に歩き回る3頭。かわいい!!



- 4 保温小屋。小屋内も毎日掃除され、非常にキレイだ。
- 5 小屋内の天井に取り付けられた保温ヒーター。真冬には、コルツヒーターなどが追加される。
- 6 小屋内に設置された温度計。
- 7 武山さんのスマホには、小屋内の温度が、24時間表示されている。

3頭のケツメリクガメが歩き回っているにも関わらず、バルコニーの床はすごくキレイだ。毎日の掃除のていねいさがわかる。

「武山さんがきてくれてから、いつもキレイにしてくれて……。本当に感謝しています」

久保田さんは、改めて感謝の気持ちを口にした。

「松竹梅はそれぞれ個性があり、性格のちがいがいいなど、毎日楽しい発見がたくさんあります。毎日お世話をしながら、そんな3頭の魅力を、少しでもお伝えできればと、SNSで発信しています」

武山さんはそう話してくれた。それにしても、社員の方の反応はどうなのだろうか？

「けっこうかわいがってくれますよ。仕事終わりにリクガメに話しかけている社員もいますよ」

そう話しながら、久保田社長はにこやかに微笑んだ。

取材前、取材後はリクガメ談義に花が咲く、楽しい取材でした！

## リクガメユーザー募集

REFPANでは本企画「リクガメ日和」にご登場いただけるリクガメ愛好家およびリクガメを随時募集中です。住所、氏名、ご連絡先電話番号にリクガメの種類、飼育年数を入力の上、メールにてrep@cranewise.jp リクガメ日和係までご応募ください。